ボートレース住之江

12日（土）13日（日）14日（月）
15日（火）16日（水）17日（木）

第32回

GⅢ オールレディース アクアクイーンカップ

あす開幕

ボートレース住之江のGⅢ「オールレディース アクアクイーンカップ」は、12日から6日間の日程で開催される。昨年7月の31回大会は、節間で80億円以上を売り上げた人気シリーズだ。昨年大会の優勝戦1号艇だった実森美祐（24）＝広島＝を中心にシリーズを展望する。

相性いい水面

昨年7月の31回大会は、ヴィーナスシリーズとして開催された。実森は予選を2位で通過。予選トップの倉持莉々が準優で敗退し、優勝戦の1号艇を手にした。

しかし、優勝戦は土屋南の4カドまくりに屈して4着。デビュー初優勝はお預けとなった。「十分にチャンスだったのに、同期にまくられて悔しい思いをした。前回のリベンジがしたい」と反撃に燃えている。

住之江は昨年大会以来の参戦となるが、悪いイメージはない。前回は複勝率27％の凡機をトップ級に仕上げた。「回った感じとかが良くて、前回は出ていたと思います」。直前の徳山、2節前の宮島とも仕上がりは上々。ペラの調子は上がってきている。

2016年11月に宮島でデビュー。すぐ枠なりに入る新人も多い中、実森は、19年5月までスローに入らずダッシュ戦で腕を磨いた。枠なり進入になればすぐにA級になるかと思われたが、まだB級のまま。初優勝も手にしていない。

「近況はスタートが行けていない。思い切って行けていない。伸び悩んでいる」と、本音を漏らした。5月から新期に変わり、5月以降の平均Sはコンマ12と決まっていたが、直前の徳山最終日にフライングを切ってしまった。

ただ、このまま引き下がるわけにはいかない。相性のいい住之江で巻き返し、悪い流れを断ち切りたい。

実森

昨年の大会のリベンジに燃える実森。住之江との相性も上々だ

◇アクアクイーンカップ出場選手◇

選手名	支部	最近勝率	当所複勝率(%)
千草美美	島根	2.92	14
登千清	宗像	5.41	----
辺清	三重	3.94	21
内淳	大阪	4.30	39
橋里	愛知	4.49	21
川ひと	広島	5.31	25
角佳	宮島	3.72	----
橋陽	宮島	3.80	----
福谷	山口	4.39	0
島田	山口	4.45	28
道千	滋賀	6.25	44
水由	広島	5.52	34
海上か	大阪	5.23	13
五口	岡山	5.18	33
森野	岡山	5.91	26
池反ゆ	長崎	4.00	21
池岡	静岡	6.31	38
三田ま	愛知	6.58	----
大樂美	山口	6.19	----
佐松美	岡山	3.93	43
金滝香	長崎	4.88	14
野田美	岡山	6.73	30
赤田裕	愛知	6.29	37
細沢幸	愛知	6.25	58
宇川祥	静岡	3.43	0
三野文	静岡	3.49	50
鈴浦裕	大阪	4.29	25
落木弥	滋賀	5.61	45
飯田永	大阪	5.10	13
原成	福岡	5.93	----
加藤直	香川	7.22	56
川野佳	福岡	7.67	49
平浦佑	大阪	4.56	12
鎌田奈	福岡	7.52	29
藤野芽	福岡	6.77	----
遠高奈	滋賀	6.26	40
藤島里	埼玉	6.64	31
堂エ	香川	5.68	44
藤亜	香川	4.81	40
遠夏	山口	4.22	22
浜田望	大阪	1.33	----
松尾沙	愛知	1.30	78
松本翔	愛知	3.02	0
土屋亨	大阪	2.70	0
清水太	大阪	2.4.35	5
佐藤美	福岡	2.25	21
森田愛	大阪	11月～今は	0
実森博	福岡	年間の出走なし。	
森田計			
高橋冨			
冨名桃			

※最近4年間の複勝率は昨年11月～今は当所、住之江出走なし。

雪辱、初V

今度こそ

Wドリーム勢が強敵

昨年は同期・土屋南にまくられ4着

遠藤最有力

総展望

Wドリーム勢から優勝者が出る可能性は高い。V候補筆頭は遠藤エミ＝写真＝だ。今年はすでに8優出して4V（1月浦郡、4月多摩川、5月びわこ、徳山の女子戦）と勝負強さをみせている。住之江は近況、SGやGⅠの出走が多く好結果を残していないが、19年のGPシリーズでは準優進出（3着）と相性は悪くない。積極的なレースで15年2月の今タイトル戦以来となる2度目の住之江Vを目指す。

好調の平高

昨年暮れのクイーンズクライマックス覇者・平高奈菜は、今年も1月下関、4月福岡、とこなめの女子戦を優勝と好調キープ。この後はSGを3節控えており、リズムアップのVといきたい。

鎌倉涼は1～2月に3Vと、産休前の調子を取り戻してきた。住之江は過去13優出も優勝なし。今節は何としても悲願の地元初Vを達成したい。

海野ゆかりは昨年、当所で2優出と好相性。今年9優出の細川裕子、同7優出の浜田亜理沙とともに今年初Vに照準だ。

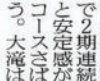
ドリーム組以外にもS巧者の宇野弥生、果敢な攻めが身上の三浦永理と池田浩美の静岡両者。地元期待の落合直子、7月から初A1を決めている松尾夏海らが有力。

◇初日（12日）12R ドリーム戦メンバー

①鎌倉　涼（大阪）
②海野ゆかり（広島）
③大滝明日香（愛知）
④川野　芽唯（福岡）
⑤浜田亜理沙（埼玉）
⑥水野　望美（愛知）

鎌倉速攻

【初日ドリーム先行予想】絶好枠の鎌倉＝写真＝が中心だ。前期は女子NO1の勝率7・67をマークした。これは男子を含めて大阪支部トップの数字。地元Vへ、初日ドリームを一気に押し切って弾みをつける。



海野は前期勝率6・25で2期連続のA1キープと安定感が出てきた。2コースさばきで逆転を狙う。大滝はセンターから自在ハンドルを発揮して上位争いへ。4カドの川野が気合のダッシュで反撃に出る。川野が握る展開になれば、浜田や水野の差しが連六。

平高逃走

【2日目ドリーム先行予想】平高＝写真＝、遠藤の好枠両者の対決ムードが一気に逃げ切る。

◇2日目（13日）12R ドリーム戦メンバー

①平高　奈菜（香川）
②遠藤　エミ（滋賀）
③佐々木裕美（山口）
④五反田　忍（大阪）
⑤細川　裕子（愛知）
⑥原田　佑実（大阪）

ド。やはり枠の差で平高が有利だ。現在、女子賞金トップの絶好調レーサーが一気に逃げ切る。

遠藤は2コースなら差しに照準を合わせるか。シャープなハンドルさばきで互角の単争いを演じそう。佐々木もS次第で2、3着争いに加わる。

ダッシュ勢に一発力ある選手がそろった。機力万全なら4カド五反田のまくり攻勢が不気味。五反田が果敢に攻めるようなら、細川や原田の差し浮上は一考。